

第3回日本オープンイノベーション大賞 総務大臣賞を受賞 「神戸市消防団スマート情報システム」の運用 【消防団員によるAIを活用した災害時の情報共有と安全管理】

総合防災情報センター白田裕一郎センター長がAI防災協議会として神戸市とともに取り組んできた成果が、第3回 日本オープンイノベーション大賞 総務大臣賞を受賞しました。

白田裕一郎センター長が、SIP第2期で研究責任者を務める「避難・緊急活動支援統合システム」のサブテーマの一つである「対話型災害情報流通基盤（防災チャットボット）」の応用版として、神戸市とともに取り組んできた「神戸市消防団スマート情報システム」の運用【消防団員によるAIを活用した災害時の情報共有と安全管理】が評価され、今回の受賞に至りました。



授賞式の様子



2019年度日本地震学会 論文賞・若手学術奨励賞を受賞

論文賞

「Adjoint tomography of the crust and upper mantle structure beneath the Kanto region using broadband seismograms」

(広帯域地震波形を用いた関東地域下における地殻・上部マントル構造のアジョイントトモグラフィ)

地震津波火山ネットワークセンターの三好崇之主幹研究員が、海洋研究開発機構の大林政行主任研究員、アブドラ王立科学技術大学のDaniel Peter准教授、東京大学地震研究所の東野陽子URA、海洋研究開発機構の坪井誠司上席技術研究員（シニア）とともに、2019年度日本地震学会論文賞を受賞しました。

若手学術奨励賞 浦田優美 特別研究員

地震津波防災研究部門の浦田優美特別研究員が、「物理素過程と応力場を考慮した3次元動的な地震破壊過程の研究」に関する業績と高い能力を認められ、地震学の分野で特に顕著な業績をあげた若手の会員に贈られる2019年度日本地震学会若手学術奨励賞を受賞しました。



リモートによる授賞式の様子



浦田優美特別研究員の賞状等

災害の“過去・現在・未来”を知る 「防災クロスビュー (bosaiXview)」

bosai X view

「防災クロスビュー (bosaiXview)」は、災害の“現在”を示す情報から、“過去”の記録、“未来”の予測に至るすべての災害情報を重ね合わせて（クロス）、見通し（ビュー）、「予防・対応・回復」のすべてのフェーズで活用することを目指すシステムです。

これまでは「防災科研クライシスレスポンスサイト (NIED-CRS)」で災害の“現在”が分かることを目指し、即時性の高い情報に主眼をおいて情報を発信してきました。

この度、対象を“現在”から“過去”“未来”に拡張するという目的をより直感的にお伝えするために「防災クロスビュー」と名称を変更しました。

「防災科研クライシスレスポンスサイト」で培ってきた技術・経験を踏まえ、より分かりやすく使いやすい形で閲覧していただくための研鑽を重ねてまいります。ぜひ、ご活用ください。

新 URL : <https://xview.bosai.go.jp/>

記者との意見交換会「NIEDCAFE」を開催しました

昨年末より、当所関連の記者会加盟の記者と幹部との意見交換会「NIEDCAFE」を始めました。

第1回は昨年12月に開催し、「東京スカイツリーを利用した雲粒の観測」について、水・土砂防災研究部門の三隅良平部門長が発表。第2回は今年3月にオンライン開催で総合防災情報センターの臼田裕一郎センター長が「防災クロスビュー」について説明しました。

いずれも多くの記者に参加いただき、“研究内容への理解が深まった”と好評でした。

より広く社会に防災科研の研究成果への関心をお持ちいただくために、今後も定期的に開催予定です。



第1回NIEDCAFEの様子

防災科研ニュース
2021 No.212

2021年3月31日発行

●ご意見・ご感想をお寄せください e-mail : k-news@bosai.go.jp

■発行



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台 3-1 企画部 広報・ブランディング推進課
防災科研ニュース係 TEL.029-863-7426 FAX.029-863-7699

●防災科研ニュースはウェブサイトでもご覧いただけます (<https://www.bosai.go.jp/>)